

危険回避能力とは

① “校則”の意味を知り、しっかり守ること。

- 校則には、「あなたに〇〇ができる生徒になってほしい」との願いが込められています。
- 学校は集団生活。人と人との間には、必ず一定のルールが必要です。
- 校則を守ることは、他者を気遣うこと。危険回避にもつながります。



② “夜 10 時までには、家に帰る” こと。(Go 家運動!)

- 不良行為のほとんどが、深夜徘徊がきっかけになっています。
- そこで事件・事故に巻き込まれることが非常に多いので要注意。
- 夜は「家でしっかり睡眠をとる」ことが、皆さんのメンタル・ヘルスを守り、心と体の“危機”を回避することに繋がります。



③ 飲酒・喫煙の場面に近づかない、自ら企てないこと。

- お酒も、タバコも“ゲートウェイ・ドラッグ”(薬物乱用の入口)とも言われ、未成年者に対しては法で禁じられています。
- 集団飲酒で補導される生徒が後を絶ちません。自分で企画しない事はもちろん、もし誘われても“断固、NO!”



④ 「合法ハーブ」は、“違法だ”と見抜く知恵を持つこと。

- わざわざ「合法〇〇」と称するものは、その含有成分や作用は、「違法ドラッグ」そのものです。(“脱法ドラッグ”という言い方をすることもあります)
- 心身を蝕み、人生を壊すドラッグは、「合法」の皮を被ってあなたの身近に忍び寄っています。
- 危険な作用のある脱法ハーブを摘発し、販売・使用を禁止できる「包括規制」という法律が適用されることとなります。



⑤ いじめ・暴力は、

「しない・させない・見のがさない・近寄らない」こと。

- あなたの身の回りにも、小さいいじめの芽はあります。小さなうちに「気づいて」、決して「見逃さず」、悪い「いじめの芽」は、早めに摘み取ってしまいましょう。
- 悪しき交友関係、場所には、「決して近づかない」ことが、最善の危険回避です。



⑥ ケータイ・ネットの情報は、“いい情報”と“悪い情報”がある。フィルタリングをかけ選び取る力をつけよう。

- 出会い系サイトのみならず、コミュニティーサイト等を介してネット被害にあう児童生徒が後を絶ちません。信じてよい情報と、騙されてはいけない悪い情報を見抜くのは、あなたの「モラル」という危険回避能力です。
- 「合法ハーブ」などのように、堂々と「合法」と書いてあれば信じてしまいそうになりますが、これは「騙し」が入った“悪い情報”です。



⑦ 保護者に無断で外泊しないこと。

- 外泊をきっかけに、「集団飲酒」「深夜徘徊」などの不適切行動に繋がることが多くあります。
- 友だちの家に泊まるなどした場合、雰囲気流されるなどの集団心理が働き、普段はとらない不適切な行動をとってしまうということもあります。
- 無断外泊をしないことも、重要な危険回避です。



⑧ 交通事故は心の隙間に突然襲ってくる、と知ること。

- 「自分は大丈夫」という心理は、車輛の免許所持者に限らず、免許を持っていない人にもありがちな“油断”です。
- 免許を持っていなくても、「同乗者」として事故に巻き込まれることもあるのです。
- バイクなど車輛を運転するあなた、アクセルをひねるその瞬間、大切な家族や友人の顔が思い浮かびますか？

